

図書館オリエンテーション

対象学年	1学年(各クラス)	教科	国語	時間	50分
本時の主題	図書室オリエンテーション				
本時の目標	<p>図書室の利用に必要な知識を伝える。          学校図書館の存在意義について説明し、図書室を親しみの持てる、役の立つところであると認識してもらう。          ブックトークで中学生向けの本を紹介して、図書室の蔵書をガイドをする。          アンケートを各人に書いてもらうことにより、生徒の興味・読書傾向を知り、今後の蔵書構築の一助とする。また、好きな本を探してもらうことにより、図書室に慣れてもらう。</p>				
本時の計画					
	学習項目	配当時間	学習内容		留意点
導入	学校図書館について	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館の役割について説明する。まず、七中図書室は七中の先生、生徒のために存在していること、七中の皆さんの役に立つためにあるということを理解する。</li> <li>学校図書館は読書のためだけでなく、学習にも貢献するところであることを知る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>図書個人カード配布(朝のうちに各担任に依頼、オリエンテーションに持参してもらう)</li> <li>レジュメ配布(P.1の流れに沿って説明)</li> </ul>
展開	図書室の使い方	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸出や返却、予約・リクエストの方法、開室時間などの基本的な知識を知る。</li> <li>本の探し方を理解する。(検索PC、司書へのレファレンスについて)</li> <li>図書館利用のマナーのおさらい(本の扱い方、静かにする、飲食禁止、貸出・返却ルールを守ることなど)</li> </ul>		レジュメP.2「図書室の使い方」を参照
	本の並び方	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>NDCの簡単な説明を理解する。(スーパーの商品の並べ方から、たくさんの物を置く場合には分類が必要だということを説明する。図書館はNDCという方法を使い、0～9の10グループに分けられていること。913や726などの例を紹介)</li> <li>図書室マップを参考にして本の並び方を理解する(別置されている物...福祉、仕事、文庫などについて。)</li> </ul>		レジュメP.3～4「図書室の本の並び方」「七中図書室マップ」を参照
	ブックトーク	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>テーマ「等身大のあなたたち～ヤングアダルト向けの本」</li> <li>小学校図書館とは一味違うヤングアダルト向けの本の紹介を受ける。(なかでも特に、学校生活における人間関係等の悩みを取り上げて、生き生きと描写している部分を読み聞かせする。)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ブックリストを配布する</li> <li>紹介する本は前のほうに展示しておく</li> <li>紹介した本はその場で貸出可</li> </ul>
整理	アンケート	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>今自分が好きなこと・興味のあること</li> <li>この図書室に読みたい本があるかどうか。あればその本の簡単な書誌情報</li> <li>おすすめの本</li> <li>以上3点を用意したアンケート用紙に書く。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート用紙を配布</li> <li>本を探すために室内を自由に歩き回ってもよい。この時間を利用して貸出も可</li> <li>後日、アンケート結果について図書便りなどで発表(フィードバック)する。</li> </ul>
教材・教具	レジュメ ブックトーク紹介本リスト アンケート用紙 ブックトークで紹介する本(リスト参照)				
参考文献					
リンク集					